

### 市議会広報のご案内

仙台市議会では、「市議会だより」をはじめ、さまざまな媒体で市民の皆さまに市議会の情報をお知らせしています。

#### ホームページ

会議の生中継、録画中継の他、会議日程、会議結果、会議録等を掲載しています。

仙台市議会 検索



(ホームページ)

#### ポスター

町内会の掲示板の他、市営地下鉄、市営バス等に掲出し、定例会の日程等をお知らせしています。



(ポスター)

#### 新聞広告

定例会の開会日に定例会の日程等を地元紙に掲載し、お知らせしています。



(新聞広告)

**意見書**  
第3号 子ども医療費助成制度の充実強化を求める件  
子ども医療費助成の地域間格差が生じることのない制度設計を行うよう県が国に働きかけるとともに、国による制度化実現までの間、県の補助内容の拡充等を求めるもの  
第4号 適正な司法試験合格者数への減員と裁判官及び検察官の適切な配置を求める件  
法的需要に見合った司法試験合格者数とともに、司法基盤の整備の観点から裁判官および検察官の適切な配置を求めるもの  
第5号 介護保険制度の運営基盤強化と人材確保を求める件  
利用者が安心してサービスを受けられるとともに、介護事業者の経営が安定し、介護従事者の雇用環境が改善されるよう求めるもの  
可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

### 用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●政策重点化方針2020(注1)  
(2面3・4・5段 4面6段)  
本年度末に本市の基本計画が策定後5年の節目を迎えることや、市が掲げた5年間の震災復興計画期間が終了すること等を踏まえ、今後5年間の重点的に取り組むべき政策の方針を取りまとめたもの。  
●総合区(注2) (2面3段)  
政令指定都市の行政区を格上げして権限を強化させた区のこと。平成28年4月から設置が可能になる。区長権限の拡大により、地域住民のニーズに応じたいきよめ細かな行政サービスが提供できるとされる。  
●地域包括ケアシステム(注3) (2面3段)  
高齢者に対し、日常圏域の中で住まいや医療、介護、生活支援等

を関係者が連携しながら一体的に提供する体制のこと。重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるようにすることが目的。  
●BCP(注4) (4面2段)  
邦訳は業務継続計画。災害等により業務遂行能力が低下した状況下でも適切に業務を執行することを目的とした計画。非常時に優先的に取り組むべき重要な業務を特定し、人員や資機材等資源の配分、指揮命令系統などを定める。  
●ビッグデータ(注5) (4面3段)  
インターネットの普及やコンビニエンスデータの普及により生成・蓄積される大量のデジタルデータのこと。活用することで利

用者個々のニーズに即したサービスの提供や新産業の創出等が可能になる。  
●子ども笑顔のラインプロジェクト(注6) (4面4段)  
文部科学省の後援を受けた一般社団法人の協力により、市内の一部の小学校で実施している。動物と触れ合う活動を通して命を大切にすることを育てることを目的としたプロジェクト。  
●仙台発そなえゲーム(注7) (4面4段)  
「災害に備えるために自分や地域に何が必要か、何ができるか」を考えた実践的に学べる参加型ボードゲーム。防災減災の学習手段として、市民協働事業提案制度により制作された。

## 社民党

ひぐち のりこ 議員

宅地被害の支援制度の適用について

**問** 太白区羽黒台の法面崩落の宅地被害には、宅地災害復旧工事の補助制度を準用し、本市が2千万円を負担する。一方、東日本大震災の被災宅地等の復旧工事の助成限度額は1千万円である。宅地被害の支援制度の違いについて伺う。  
**答** 東日本大震災の被災宅地等復旧工事の助成制度は、既存制度



豪雨により法面の崩落があった太白区羽黒台(平成27年12月撮影)

**問** G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催に向けた対応について  
**答** G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議に際し、国連防災世界会議での成果や課題を検証するとともに、地元組織との連携など市民協働の取り組みを活かすべき。

**答** 地元関係者や市民の協力による歓迎気運の醸成は不可欠であり、官民を挙げた開催支援や気運醸成のための事業を推進する。国連防災世界会議から導き出された語学対応等の諸課題に対しては、語学研修の充実などにより対応したい。その他の主な質疑項目  
○災害救助法の抜本的な見直しを  
○情報・産業・ITの運営管理  
○災害時情報発信システムの拡張性  
○現行基準制定前に造られた馬橋は現行基準による架け替えを  
○橋りょう長寿命化修繕計画の今後の見直しと検査体制・技術の強化  
○マイナンバーの民間利用について  
○指定管理者選定における評価基準と図書館運営の在り方

## 代表質疑

**問** 本市の教育現場では、いじめ問題が最重要課題になっている。課題解決に向け、関係する全ての局を巻き込み、オール仙台で取り組むべきと考えるがいかがか。  
**答** 教育行政の課題解決は市長部局と教育委員会が一丸となり当たることが不可欠。今後は、総合教育会議に必要に応じ関係局長

## 市民フォーラム 仙台

佐藤 わか子 議員

オール仙台でいじめ問題に取り組むべき

**問** 障害者を取り巻く環境が変化し、センターの機能拡充が求められている。現在、機能の検討に加え、複合施設の在り方や周辺の交通処理等の課題について関係局と協議を進めており、早期整備に向け取り組みを進めていく。その他の主な質疑項目  
○高齢者や子ども等が一つの施設



(仮称) 青葉障害者福祉センター等が建設される予定の旭ヶ丘駅前の用地

**問** 地下鉄旭ヶ丘駅の隣接地に計画されている(仮称)青葉障害者福祉センターは、発達障害にも対応できる施設とし、早期開設を望むが、今後の見通しはいかがか。  
**答** 障害者を取り巻く環境が変化し、センターの機能拡充が求められている。現在、機能の検討に加え、複合施設の在り方や周辺の交通処理等の課題について関係局と協議を進めており、早期整備に向け取り組みを進めていく。その他の主な質疑項目  
○高齢者や子ども等が一つの施設

を同席させるなど全庁が課題認識を共有し、教育大綱に沿った施策を本市の総力を挙げて推進できるように取り組むたい。  
青葉障害者福祉センターの早期開設を  
○老人福祉センター等の方向性  
○農と食のフロンティアの検証と農業園芸センターの開業時期  
○高齢化が進む市営住宅の指定管理者は公募とし福祉的対応の強化を  
○市民センター等の建て替え基準

**問** 東西線開業は、利便性の向上はもとより、新たな交流やビジネス機会を生み出す等、その効果が大いに期待される。東西線等の軌道系交通機関を軸にした、今後の都市づくりの中長期的な戦略を伺う。  
**答** 本市では、機能集約型の市街地形成を進めており、東西線沿線では、都市計画に関する独自の提案

## 自由民主党

橋本 啓一 議員

軌道系交通機関を軸にした今後の都市づくり

**問** 受益と負担の適正化を図るには、市民利用施設使用料の利用者負担を引き上げるだけでなく、施設運営経費の縮減等も必要だが伺う。  
**答** 省エネ・高効率機器等の導入指定管理者の公募拡大、大規模改修へのPFI手法活用検討等、経費削減の取り組みの推進に努めたい。その他の主な質疑項目  
○まちづくり政策局の在り方と展望  
○プレハブ仮設住宅の集約と支援  
○復興事業局廃止後の復興に関する施策と事業の推進体制  
○マイナンバー制度の市民周知とセキュリティ対策の課題認識



市民参加で盛り上げた防災世界会議の経験を活かすべき(同会議の歓迎事業の様子)

制度の創設等、民間開発を誘導してきた。今後も、市民や本市を訪れる方に魅力的な都市となるよう努める。市民利用施設の  
使用料見直しについて  
**問** 受益と負担の適正化を図るには、市民利用施設使用料の利用者負担を引き上げるだけでなく、施設運営経費の縮減等も必要だが伺う。  
**答** 省エネ・高効率機器等の導入指定管理者の公募拡大、大規模改修へのPFI手法活用検討等、経費削減の取り組みの推進に努めたい。その他の主な質疑項目  
○まちづくり政策局の在り方と展望  
○プレハブ仮設住宅の集約と支援  
○復興事業局廃止後の復興に関する施策と事業の推進体制  
○マイナンバー制度の市民周知とセキュリティ対策の課題認識

○市民会館の今後の在り方  
○蒲生地区の野球場の拡張整備を  
○9月の豪雨被害における農地および農業施設の早期復旧と支援  
○政策重点化方針2020の考え方  
○災害時情報発信システムの活用策  
○G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議への市民参加の機会の検討  
○国家戦略特区の医療分野への活用  
○「総合区」導入についての検討状況と青葉区の人口増への対応

## 公明党

佐藤 幸雄 議員

今後の雨水対策について

**問** 浸水履歴の公表、ハザードマップの見直しについて伺う。また、浸水被害の軽減に向けた緊急的な対応として、土のう配布場所の拡充と止水板の設置補助を求める。  
**答** 浸水履歴は、窓口で閲覧に供しているが、広く公開した場合の影響等も勘案しながら情報提供の手法を検討する。内水による浸

**問** 集団転移跡地の利用に当たっては、旧荒浜住民と幅広く意見交換し進めるべき。また、東部沿岸地域を案内する「語り部」の育成に地元と一緒に取り組むべき。  
**答** 荒浜地区で活動されている方、NPOや企業の方等の多種多様な意見を募り、公園や農地だけではなく、仙台にふさわしい跡地利用の在り方について検討を深めていく。また、荒浜駅の「せんだ



地元の方が作成した震災前後の様子を写した展示パネル(荒浜地区)

水想定区域図は、荒浜地区等の浸水対策事業完了後に改訂予定である。また、本市の雨水緊急対策部会において土のう配布場所の拡充に向けた検討を進めており、止水板設置の補助制度についても他都市の事例を参考に検討中である。  
地元住民の意見を踏まえた  
取り組みを

い3・11メモリアル交流館において、地域やNPO等の活動と連携し、語り部の育成や組織化に積極的に取り組んできたい。その他の主な質疑項目  
○職員を守る災害訓練の重要性  
○東西線沿線のまちづくりと利用者数増加に向けた取り組み  
○復興公営住宅のコミュニティ形成支援とみなし仮設入居者への対応  
○市営住宅の指定管理者の選定理由

## 本党 目共産党

すげの 直子 議員

市民の声に応える政策を重点に

**問** 2009年以降、市民意識調査における「今後特に力を入れて取り組むべきもの」の上位は、子育て支援の充実、安心の医療体制、介護などの高齢者支援、公共交通の充実等となっている。自治体の本分である福祉や暮らしを支えることを「政策重点化方針2020」に明記し、何よりも重点として取り組むべき。  
**答** 社会保障や税制度の透明性を高め、国民にとって利便性の高

**問** マイナンバー制度は、IT業界が自治体や事業者から未来永劫収益できる打ち出の小づちである。制度導入に向けた本市の負担も既に16億円を超えている。国民監視を強め、個人情報危険にさらすマイナンバー制度は中止するよう国に強く求めるべき。  
**答** 市民利用施設使用料値上げの中止  
○地下鉄東西線開業に伴って廃止縮小されたバス路線の復活を



地下鉄東西線の開業に伴い撤去された多くのバス停

**問** 市民の福祉や暮らしの向上と都市の競争力を高めることはいずれも重要と認識している。政策重点化方針は都市戦略上必要な方向性に特化しており、福祉や暮らしの向上は新実施計画にしっかりと位置付け、施策を実施していきたい。個人情報危険にさらすマイナンバー制度実施の中止を  
○市民利用施設使用料値上げの中止  
○地下鉄東西線開業に伴って廃止縮小されたバス路線の復活を

い社会の実現のために推進すべき制度と認識しており、プライバシー権への配慮やセキュリティ面での措置も講じられている。必要な財源措置を国に求めるとともに、本市として責任を果たして安全で円滑な運用に全力を尽くす。  
その他の主な質疑項目  
○市民利用施設使用料値上げの中止  
○地下鉄東西線開業に伴って廃止縮小されたバス路線の復活を

### 議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

#### 常任委員会 審議の概要

平成27年12月17日開催

付託された2議案のうち、第162号議案は賛成多数で、第163号議案は賛成多数で、第168号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。  
○馬橋の災害復旧工事について  
○宝くじの販売促進の取り組みと収益金の配分について

#### 総務財政委員会

(第162・163号)

付託された2議案のうち、第162号議案は賛成多数で、第168号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。  
○馬橋の災害復旧工事について  
○宝くじの販売促進の取り組みと収益金の配分について

#### 市民教育委員会

(第164・169・175・176・182号)

付託された5議案のうち、第182号議案は賛成多数で、その他4議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。  
○西山コミュニティ・センターの設置場所の選定経緯について  
○図書館への指定管理導入の評価

#### 健康福祉委員会

(第165・166・171・179号)

付託された5議案のうち、第165号議案は賛成多数で、その他4議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。発議された意見書は全会一致で議長に提出すべきものと決定した。  
○生活保護事務とマイナンバー制度

#### 経済環境委員会

(第162・170号)

付託された2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。  
○農業者の意欲が薄れぬよう豪雨による被災が後から判明した農地や農業施設も早期の復旧に努めよう  
○人員や予算の確保、効率的な手法を検討し来年の営農につなげたい。

#### 都市整備建設委員会

(第162・163・167・171・174・180・181・184号)

付託された11議案のうち、第162号議案および第180号議案は賛成多数で、その他9議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。  
○馬橋の災害復旧に係る地域説明の経過と今後の方針について  
○市営住宅の指定管理業務の考え方